

Sunshine 第9回 Lessons

Lesson 9-1: 様々なフレーズ⑦

1. 動詞 **ing** = ～すること / ～するのが

<例> I like playing the piano. <私はピアノを弾くことが好きです>

[補足説明]

動詞 **ing** の形は「動名詞」と呼ばれ、動詞を名詞の形にしたものとなる。文の主語になったり動詞の目的語（動詞の対象）になったりする。**ing** を足すルールとしては以下のものがある。

1. 最後に e の場合 → e を取って ing

<例> dancing (踊ること)

2. カタカナにした際、最後に「ッ」が入る → 最後の子音を重ねる

<例> getting (手に入れること) stopping (止まること)

3. run / swim の場合 → running / swimming と最後の子音を重ねる

また、「動名詞+目的語」で「目的語をすること」という形にもすることができる(例: studying math = 数学を勉強すること)。

<例> Studying is fun. (勉強することは楽しいです) *fun = 楽しいこと / 楽しみ

I don't like studying math. (数学を勉強することは好きではないです)

2. **then** = それから / それなら / そしたら

<例> Write your name here. Then, give it to me.

<あなたの名前をここに書いて。それから、私にください>

A: I don't have time today. B: Can you do it tomorrow then?

<A: 私には今日時間がありません。 B: それなら明日ならできますか>

[補足説明]

基本的に **then** は、文章の最初(その際は **Then**, となることが多い)、または最後に足される。また、**Then** の後のカンマは省略されることもある。

3. **A, so B** = A なので B

<例> He is smart, so he can teach well. <彼は賢いので、彼は教えるのが上手です>

[補足説明]

基本的に **A, so B** で1文となるが、**A. So(,) B.** と2文で表されることもある。

4. **First, ~. Then, ~. = 最初に～。それから（そしたら）～。**

<例> **First**, finish your homework. **Then**, you can go home.

<最初にあなたの宿題を終わらせて。そしたら、あなたは家に帰ることができます>

〔補足説明〕

Then の代わりに **Second** (2 番目に) と序数が使われることもある。また、それ以降は、**Third** などの序数や、再び **Then** や **Finally** (最後に) といった表現が使われる。また **First / Second** などの後のカンマは省略されることもある。

Lesson 9-2: 所有代名詞

I / you などの代名詞には「主格」「所有格」「目的格」といった格がありました。そして、この格とセットで覚えるようによく言われるのが、今回学ぶ「所有代名詞」というものです。この所有代名詞は「〇〇の (もの)」（例：私の (もの) です）といったように「所有格 + 名詞」の意味を表します。

主格	所有代名詞 <~の (もの) >	例文
I	mine <私の (もの) >	That bag is mine. <あのカバンは私の (もの) です>
you	yours <あなた (たち) の (もの) >	Is this yours? <これはあなたの (もの) ですか>
we	our <私たちの (もの) >	This bus is not ours. <このバスは私たちの (もの) ではありません>
they	theirs <彼らの (もの) > <彼女らの (もの) >	That car is theirs. <あの車は彼らの (もの) です>
Tom (代名詞以外)	Tom's <トムの (もの) >	That book is Tom's. <あの本はトムの (もの) です>

「所有代名詞」は、「所有代名詞 + 名詞」の形にはならないの (例：mine pen / yours pen のようにはならない) ので注意してください。

Lesson 9-3: 様々なフレーズ⑧

1. These = これら / これらの Those = それら・あれら / それらの・あれらの

<例> These are my bags. <これらは私のカバンです>
Those cars are new. <それら(あれら)の車は新しいです>

【補足説明】

These / Those は、This / That の複数形。代名詞(これら / それら / あれら)にもなるし、形容詞(これらの / それらの / あれらの)にもなる。

2. just = ほんの / たった / ただ / とにかく

<例> I just need some water. <私はただいらか水が必要なだけです>

【補足説明】

「ほんの」「たった」という意味の場合、just の代わりに only (～だけ) が使われることもある。

<例> I only need some water. (私はいらか水が必要なだけです)

また、just には「まさに」「ちょうど」という意味もある。just は、sometimes / often のように be 動詞の肯定文では be 動詞の後に足され、一般動詞の肯定文では一般動詞の前に足される。また命令文の場合は、Just から始めることができる。

<例> Just do it. (とにかくやりなさい)

3. That's (That is) right. = その通りです

<例> A: We don't have time. B: That's right.

<A: 私たちには時間がありません。 B: その通りです>

【補足説明】

right は「右」という意味もあるが「正しい」という意味もあるため、That's right. の直訳は「それは正しい」となる。また、That's の代わりに You're (You are) や That's を省略して、Right だけ使われることもある (Right. はあいづちとしても使われる)。

Lesson 9-4: 疑問詞⑤ (Whose (○○) / Which / Which ~, A or B?)

ここでは2種類の疑問詞について学んでいきます。基本的な形は「疑問詞+疑問文？」なのですが、入る疑問詞によって意味がガラッと変わるので注意が必要です。

1. Whose ○○~? = ~は、誰の○○ですか

<例> Whose bag is it? <それは誰のカバンですか>

〔補足説明〕

文脈上、○○が限定されている場合は、○○が省略されることもある。

<例> That bag is nice. Whose is it? (あのカバンは良いです。誰のですか)

2. Which ○○ ~? = どの○○が~ですか / どちらの○○が~ですか

<例> A: Which bag is yours? B: The red *one is.

<A: どのカバンがあなたののですか。 B: 赤いのです>

*この one は、bag を指す。red bag とすると、しつこく聞こえるので、one (代名詞) を使い「(赤い) の」という意味となっている。

〔補足説明〕

Which is ~? のように “Which + be 動詞 ~?” の疑問文の場合、答えは “○○ be 動詞.” の形になる。文脈上、○○が限定されている場合は、○○が省略されることもある。

<例> A: I see many bags. Which is yours? B: That black one is.

(A: たくさんのカバンが見えます。どれがあなたののですか。 B: あの黒いのです)

3. Which (○○) ~, A or B? = A と B のどちら (の○○) が、~ですか

<例> Which do you like, soccer or baseball?

<サッカーと野球の、どちらがあなたは好きですか>

Which ball is yours, the blue one or the white one?

<青いのと白いの、どちらがあなたのボールですか>

〔補足説明〕

A or B で「A か B」という意味になる。これは、Which ~, A or B? 以外の形でも or を使うことができる。

<例> We can go home or study in our classroom.

Lesson 9-5: 様々なフレーズ⑨

1. both = 両方 (とも) / 両方の

<例> A: Which bag do you like? B: I like both.

<A: どちらのカバンがあなたは好きですか。 B: 私は両方好きです>

[補足説明]

“both of 代名詞の目的格” という表現もよく使われる。

<例> Both of them are good. (それら両方とも良いです)

2. I got it. = 分かりました

<例> A: You can't use this. B: I got it.

<A: あなたはこれを使えません。 B: 分かりました>

[補足説明]

got は、get の過去形 (「～した」という意味になる)。get には「手に入れる」という意味だけでなく「理解する」という意味もあるため、I got it. で「私はそれを理解した」つまり「分かりました」という意味になる。また、会話では、Got it. だけ使われることもある。

3. another = もうひとつの / もう一人の / 別の

<例> I need another pen. <私はもう1本別のペンが必要です>

[補足説明]

別のものが1つの場合は、another だが、複数の場合は other (別の / 他の) が使われる。つまり “another + 単数” “other + 複数” となる (「1 つの other = an other」なので another は、1つと覚えるとよい)。

<例> We can go to another store. (私たちは、別のお店にいけます (1店舗を想定))

We can go to other stores. (私たちは、別のお店にいけます (複数のお店を想定))

4. be absent (from ~) = (～を) 欠席している

<例> He is absent from school today. <彼は今日学校を欠席しています>